

出前授業で知識深める

新翔高校「観光」の選択生徒

和歌山県立新翔高校でこのほど、2年生を対象とした「地域と観光」についての出前授業が行われた。糸川

屋製菓株式会社(熊野市)の代表取締役糸川佳男さんと営業企画部の河邊豊和さんを招き、生徒たちはお菓子作りについての知識について学んだ。

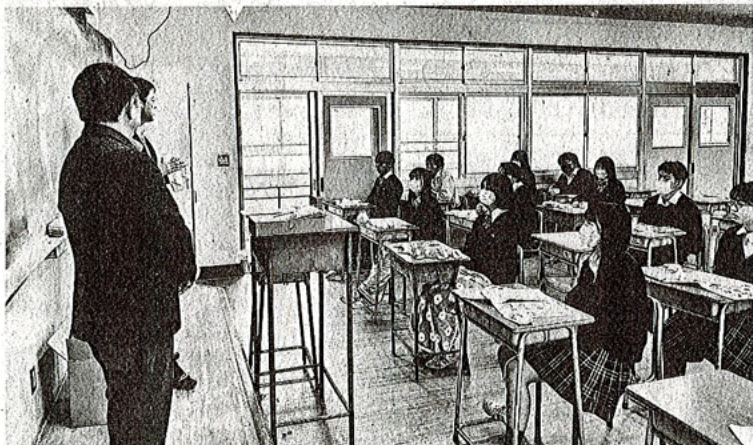
2年生と3年生の選択授業の1つとして、世界遺産学習を中心とした「観光」授業を行ってきた。2022年度からは地域に根ざした学校作りの一環として、内容を一新し、高校生が主体となって地

域貢献できるような活動を地元企業と協力。また、同県の教育にかかる支援事業である

「わかやまスクールパークアップ事業」に申請し、補助金をもらいながら現在2年目の活動を行っている。

授業でははじめに、同社は地域との関わりが大きく地元食材を

使用してお土産品を作り、伊勢神宮への贈答品や、紀南高校・国土



授業を受ける生徒たち(提供写真)

交通省とコラボしたお菓子の製造販売も行っていることを説明。お土産と観光については、新宮市や紀南地方でならどんなお菓子を作った方が良いか、「地域の特色を考えてみる」「地域にリサーチしてみる」など、新翔高校オリジナルのお土産やお菓子を作成する上でのアドバイスを生徒たちに伝えた。

なお、3年生の「観光一般」選択生の活動で、「くらしごと」の大西茜さんとコラボして、実際に狩猟し得た鹿革を使ったレザークラフトを24日(土)から無印良品(新宮市佐野、スーパーセンターオークワ南紀店內)のつながる市で販売。活動の様子を写した写真も同店で24日から3月31日まで開催予定。